この度はTIMEXウォッチをお買い上げいただき有難うございます。
TIMEXウォッチの機能をご理解いただき、製品を正しくご使用いただくため、取扱説明書はよくお読み下さい。また、取扱説明書はお手元保管していただき、必要に応じて、ご参照下さいますよう、お願い致します。

1. 機能

時刻/日付（12/24時間表示、月・日/日・月形式の日付表示、2つのタイムゾーン、毎正時のチャイム）カウントダウンタイマー（24時間まで。ストップ、スタートまたはゼロまでカウントした時点でクロノをスタート。9つのインターバルをセットできます）
5種類のアラーム（毎日/平日のみ/土日のみ・毎週指定曜日のみ、5分後にバックアップアラーム）クロノグラフ（100ラップを保存。日付別計測値の呼出し、平均/ベストタイムの表示、ラップタイムの即時呼出し、経過時間カウンター）
INDIGLO®ナイトライト、NIGHT-MODE®機能付き

2. 基本操作

設定する際、それぞれのボタンには上記のような異なる機能があります。ボタンで機能を変更すると表示窓に表示されます。

3. 時刻/日付/毎時のチャイム

1.時刻表示モードでSET/RECALLボタンを押し続けて下さい。HOLD TO SETの表示に引き続いてタイムゾーンの数字が点滅します。
2.＋またはーを押して、タイムゾーン1、2を選択します。
3.NEXTボタンを押して、「時間」の数字を合わせます。数字が点滅します。
4.＋またはーを押して「時間」の数字を変更します。AM/PMを変更するには12時間分をスクロールします。
5.NEXTボタンを押し、次に＋またはーを押して分の数字をセットします。
6.NEXTボタンを押し、次に＋またはーを押して秒の数字をゼロに合わせます。
7.この要領で、曜日、月、日、12時制（AM/PM）または24時制表示、月·日（MM-DD）/日・月（DD-MM）の形式の日付表示、毎時チャイムのオン/オフ設定、ビープ音のオン/オフ設定を順次行います。ビープ音をオンに設定した場合、INDIGLO以外のボタンを押すたびにビープ音が鳴ります。
8.NEXTボタンを押して、上記と同じ要領でタイムゾーン2を設定します。
9.DONEボタンを押して設定を終了します。
ヒント
・START/SPRITボタンを強く押すと次のタイムゾーンを瞬時に見ることができます。
・START/SPRITボタンを4秒間押しているとHOLD TO SWITCHの表示、ビープ音に引き続き時間帯が変更できます。
・他のモードになっている時は、MODEボタンを押し続けると時刻を見ることができ、ボタンから手を離すと現行モードに戻ります。

4. クロノ

腕時計は199ラップ（最大99時間59分59秒）までカウントでき、最初の100ラップまで保存できます。

ラップ1	ラップ2	ラップ3	ラップ4
7：11分	7：50分	7：08分	7：30分
7：11分			
スプリット1	15：01分		
	スプリット2	22：09分	
		スプリット3	29：39分
			スプリット4

計測の開始：
1.CHRONO の表示が出るまでMODEボタンを押します。
2.START/SPRITボタンを押してクロノをスタートさせます。
3.START/SPRITボタンを押してタイムゾーン1を計測します。ラップ番号は表示窓の上段に表示されます。
4.表示は10秒間停止します。
5.STOP/RESETボタンを押すとクロノは停止または休止します。START/SPRITボタンを押すと再開します。
6.計測完了時には2つのオプションがあります。SET/RECALLボタンを押すとHOLD TO STOREの表示に引き続いて計測値が保存される、または、STOP/RESETボタンを押すとHOLD TO RESETの表示に引き続いて計測値を消去する選択ができます。（どちらも、クロノを00:00:00にリセットします）。
ヒント
・クロノはモードを変更しても、引き続き計測します。
・MODEボタンを押して表示を解除し、計測中の時刻を見ることができます。
・クロノが計測中は、時刻表示窓に◷マークが点滅します。
・計測値の保存時には、表示窓に空きメモリーが表示されます。空きメモリーがなくなった場合 MEMORY FULL と表示されます。（使用メモリー数は、保存された運動内容の総ラップ数と総運動時間を保存するために取られた1ラップを足したものに等しくなります。）
・すべての計測時間を保存するにはメモリーが不十分な場合、残りのメモリー分だけ、積算タイム、日付、その日付の最初のラップが保存されます。

計測値の呼出し：
1.SET/RECALLボタンを押して呼出しモードにします。RECALL表示に引き続いて最後の計測値の日付が点滅します。
2.＋/ーボタンを押して、見たい計測値を探します。計測値は日付別に保存されています。同じ日付で複数の計測値を保存できます。
3.NEXTボタンを押して計測値の詳細を表示させます。
4.＋/ーボタンを押して、一連のラップ、ベストラップ、平均ラップなどのラップ/スプリットタイムを見ます。
5.別の計測値を見るには、NEXTボタンを日付が点滅するまで押し、次にステップ2～4の要領で行います。
6.DONEボタンを押して終了します。
ヒント
・クロノが計測中に計測したばかりのラップ/スプリット タイムを見るには、SET/RECALLボタンを押して、次に＋/ーボタンを押し、ラップ/スプリットタイム、ベストラップ、平均ラップをスクロールします。計測中のラップは表示されません。クロノが計測中は、他の日付で保存された計測値を見ることはできません。

計測値の消去：
1.クロノが停止しているとき、STOP/RESETボタンを押し続けると、HOLD TO CLEAR CHRONO WROUT（最後の測定値が消去されるまで押し続けて下さい）が表示されます。
2.ビープ音が鳴ると、最後の計測値がメモリーから消去されたことになります。
3.すべての計測値を消去するには、STOP/RESETボタンを押し、HOLD TO CLEAR ALL（クロノのメモリーが消去されるまで押しつづけて下さい）が表示されるまで押し続けます。2度目のビープ音が鳴ると、すべての計測値が消去されたことになります。表示窓にMEMORY100と表示されます。

表示窓のフォーマットのカスタマイズ：
表示窓の上段、下段の表示を設定します。
1.クロノの画面でSET/RECALLボタンを押し続けます。
2.計測値が保存されていない場合は表示窓にRECALL FORMATに引き続きRECALL SETの表示がでます。
3.保存された計測値がある場合は最後の計測値が表示されます。フォーマット画面になるまで NEXT ボタンを2回押します。
4.＋/ーボタンを押して、LAP/SPL（スプリットが大きな数字）、SPL/LAP（ラップが大きな数字）、TOTAL RUNのいずれかを選択します。
5.DONEボタンを押して終了します。
注：TOTAL RUNフォーマットでは、積算経過時間と積算運動時間（積算運動時間＝積算経過時間ー計測休止時間）が表示されます。

TOTAL RUN表示フォーマットを選択した場合
1.START/SPRITボタンを押してクロノをスタートさせます。
2.計測中に休止/停止するたびにSTOP/RESETボタンを押します。表示窓の上段には積算運動時間（経過時間から休止時間を引いた差）が表示されます。下段の数字はカウントを継続し、クロノがスタートしてからの経過時間が表示されます。
3.START/SPRITボタンを押して計測を再開します。
4.上記の操作を繰り返して積算運動時間と積算経過時間を記録します。
5.STOP/RESETボタンを押して計測を終了します。下段の運動時間のみが停止し、上段の積算経過時間は動き続けますが、積算経過時間は保存されないので、保存時に支障ありません。
6.計測値を消去または保存します。
ヒント
・このフォーマットでの計測が終了しても、計測値が消去または保存されるまで経過時間のカウントは続行されます。
・TOTAL RUNを呼び出す場合、積算運動時間のみが表示されます。
・スプリットをとった場合は、画面は SPL/LAPに変更され経過時間はメモリーに保存されません。

5. タイマー

1.表示窓にTIMER が表示されるまでMODEボタンを押します。
2.SET/RECALL ボタンを押すと、TIMER SETの表示に引き続き「時間」の数字が点滅します。
3.＋/ーボタンを押して時間を変更します。
4.NEXTボタンを押して、次に＋/ーボタンを押し、分の数字をセットします。
5.NEXTボタンを押して、次に＋/ーボタンを押し、秒の数字をセットします。
6.NEXTボタンを押して、次に＋/ーボタンを押し、STOP AT END（1回のみ）、REPEAT AT END（リピート）、CHRONO AT END（ゼロまでカウントした時点でクロノをスタート）のいずれかを選択します。
7.DONEボタンを押して確認し終了します。
8.START/LAPボタンを押すとタイマーがスタートします。タイマーモードを終了してもタイマーは作動します。
9.タイマーがゼロまでカウントしたとき、またはタイマーが再度カウントを開始するとき、アラームのメロディーが響きます。
10.STOP/RESETボタンを押してタイマーを止めます。もう一度押せばリセットできます。
11.SET/RECALLボタンを押して、設定時間を変更します。
ヒント
・タイマーが作動中は、表示窓の時間に⧗マークが表示されます。
・タイマーを繰り返し作動させる場合、カウントダウンタイマーとインターバルタイマーの表示枠の右下にリピート回数が表示されます。
・最大リピート回数は99回です。
・CHRONO AT ENDを選択すると、クロノモードでない場合、カウント終了時に表示窓がクロノモードに変更されます。

6. インターバル タイマー

連続してカウントする複数のタイマーを設定できます。
1.INTTMRが表示されるまでMODEボタンを押し続けます。
2.上記のタイマーモードの手順に従って、カウントする時間を設定します。
3.インターバル番号が点滅したら、次に＋/ーボタンを押して別のインターバルを設定します。
4.DONEボタンを押して設定を終了します。
5.START/SPRITボタンを押してインターバルタイマーをスタートさせます。その他の操作はタイマーの操作と同じです。
ヒント
・最初の設定時間のカウントが終了すると、タイマーはゼロに進まず、次に設定されたインターバルのカウントを開始します。各インターバルの間ではビープ音が鳴り最後のインターバルが終了するとインディグロが点滅しビープ音が鳴ります。
・インターバルタイマーの設定内容（REPEAT AT ENDなど）は連続するインターバルのすべてに適用されます。

7. アラーム

1.ALM1が表示されるまでMODEボタンを押します。
2.SET/RECALL ボタンを押してアラームをセットします。
3.時間を示す数字が点滅したら、＋/ーボタンで時間を変更します。
4.NEXTボタンを押して、次に＋/ーボタンで、分の数字、AM/PM（最初の時刻設定が12時間フォーマットの場合）、毎日（DAILY）、平日のみ（WKDAYS）、土日のみ（WKENDS）、毎週指定曜日（1週間ごとのアラーム）などをセットします。
5.DONEボタンを押して確認し終了します。
6.START/SPRITまたはSTOP/RESETボタンを押してアラームをオンまたはオフにします。
7.さらにアラームを設定する場合は、STOP/RESETボタンを押してALM2～ALM5が表示されたらそれぞれ上記の手順で設定します。
ヒント
・アラームがオンになっていると、時刻表示の窓に◷マークが出ます。
・アラームがオフになると、INDIGLO®のナイトライトおよびアラームアイコンが点滅し、アラーム音が鳴ります。いずれかのボタンを押すとアラーム音は止まります。
・ボタンを押さないと、20秒後にアラーム音は止まり、5分後にアラーム音がまた鳴ります。

8. INDIGLO® NIGHT-LIGHT/NIGHT-MODE®機能

1.INDIGLOボタンを押してナイトライトを作動させます。エレクトロルミネッセンス（米国特許4,527,096および4,775,964）による発光で、夜間や薄暗がりの中で液晶画面全体を明るくします。
2.INDIGLOボタンを4秒間押すとNIGHT-MODE®（米国特許4,912,688）機能が作動し◖マークが表示されます。
3.NIGHT-MODE®では、いずれかのボタンを押すと液晶画面が3秒間明るくなります。
4.NIGHT-MODE®を終了するには、INDIGLOボタンを4秒間押します。NIGHT-MODE®は8時間後に自動的に終了します。
5.ハンズフリー（FLIX）
ナイトモード機能に設定するとハンズフリー（FLIX）となり、ボタンを押さずにINDIGLOナイトライトを点灯させることが出来ます。

9. 防水性

時計が防水の場合、水深または〰マークが表示されています。

非防水性 汗などでもケース内に浸水しますので、取扱いには十分な注意が必要です。
30M・3気圧 → 日常生活防水 水中でのご使用は不可能です。雨・手洗いの際の水しぶきに耐えうる程度の防水性です。
50M・5気圧 → 日常生活防水 水中でのご使用は不可能です。水仕事に耐えうる程度の防水性です。
100M・10気圧 → 日常生活強化防水 水泳程度のご使用は可能です。
200M・20気圧 → 日常生活強化防水 水中でのご使用は可能です。但し、飽和潜水・空気潜水にはご使用出来ません。

警告：防水性を維持するため、水中ではボタンは一切押さないで下さい。
1.時計の防水性は表面ガラス、リューズ、ケースが無傷である場合に限り保たれます。
2.この時計はダイバー ウォッチではありません。ダイビングに使用しないで下さい。
3.時計に塩水がかかった場合は真水ですすいで下さい。
4.防水機能表示をご確認の上、使用可能範囲に添って正しくご使用下さい。
5.水に関するスポーツなどでご使用の際、瞬間的に耐圧限界を超える衝撃が加わった場合には浸水する場合があります。
6.防水時計であっても入浴中のご使用はお避け下さい。
7.シャワーや蛇口からの水圧は高水圧の恐れがありますのでお避け下さい。
8.防水機能を超えたご使用による故障の場合は、特別な場合を除き有償修理対応となります。

10. 電池寿命

・モデルによって電池寿命が異なります。この腕時計の電池寿命は、約3.5年です。
・電池寿命は新しい電池をセットしてからの持続年数です。
・電池寿命は1日1秒のINDIGLOナイトライトを使用した場合を想定したものです。
・時計精度に遅れが生じたりINDIGLOナイトライトが暗くなった場合は電池交換を必要としている可能性がありますので弊社に電池交換をご依頼下さい。

11. 電池についてのお願いとご注意

電池について
・時計をお買い求めいただいた際に組み込まれている電池は、機能・性能を見るためのモニター用です。電池寿命に満たない場合もございますので、予めご了承下さい。
・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、液漏れなどによる故障の原因となりますので、お早めに交換をして下さい。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

警告
・破損の恐れがありますので、お客様ご自身で電池を時計から取り外さないで下さい。
・やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はお子様の手の届かないところに保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、身体に害を及ぼす可能性がありますので、直ちに医師にご相談下さい。

注意
・破損・発熱・発火などの恐れがありますので、電池を分解、ショート、加熱、火に入れるなどの危険行為をしないで下さい。
・ご使用の電池は充電式ではありません。液漏れや破損を生じる恐れがありますので、絶対に充電はしないで下さい。
・常温（5℃～35℃）からはずれた温度環境下に長時間放置すると、電池寿命が短くなったり、液漏れを生じることがあります。

12. 時計の精度

TIMEX社の規格では、クォーツウォッチは月差±15秒以内、メカニカルウォッチ（機械式）は日差±30秒で調整されています。ただし、ご使用の条件により変化することもありますので、予めご了承下さい。

13. ご使用上の注意とお手入れ方法

日常のお手入れ
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビや腐食で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用下さい。
・時計を外した時は、柔らかい布などで汗や水分を拭き取るだけでケース・バンド・バッキンの寿命が違います。
・皮バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽く拭いて下さい。擦るように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
・皮バンドは素材の性質上、色落ちする場合があります。特に水や汗などで濡れると色落ちしやすくなります。衣類・持ち物・肌などに色落ちが付着した場合は、直ちに時計・バンドを取り外して良く拭き取って下さい。
・金属バンドは、柔らかい歯ブラシなどを使い、金属バンドのみを水で洗って下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。
・ウレタン・プラスチックバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどい場合は水で洗浄して下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。通常のご使用でも素材の性質上、硬化・変色する場合があります。
・非防水時計は、湿度のあるところや汗などにご注意下さい。万一、濡れた場合は、直ちに吸湿性のよい布などで水分を吸い取って下さい。
・日常生活強化防水時計（10気圧・20気圧）を海水などでご使用になった場合は、洗剤や薬品などは使用せずに、水を使用して水分や汚れを拭き取って下さい。
・回転式ベゼル・リュウズ・プッシュボタン類は、汚れが付着していると機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
・時計・バンドに科学薬品・ガスなどが付着すると、変形・変色・破裂する場合もありますので、絶対に付着させないで下さい。

かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用下さい。
・かぶれやすい体質の方や体調によっては、皮膚に異常がある場合があります。
・腐食・汚れ・汗などが、皮膚の異常を引き起こす原因となる場合がありますので、時計は清潔にしてご使用下さい。万一、皮膚などに異常を生じた場合は、直ちにご使用を中止して医師にご相談下さい。

保管について
・「0℃～50℃」からはずれた温度では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないで下さい。
・極端にホコリの多いところに放置しないで下さい。
・強い振動のあるところに放置しないで下さい。
・薬品にふれるところに放置しないで下さい。
・温泉や防虫剤の入った引き出しなど特殊なところに放置しないで下さい。

14. 時計外装部品の損傷・破損について

・時計外装部品の損傷・破損は、保証期間内に於いても特別な場合を除き有償修理対応となります。又、損傷・破損が原因であっても、紛失された場合は保証の範囲ではありません。
・回転ベゼルリング・リュウズ・ボタン・ハンドバックル等の可動部分の損傷・破損は保証の範囲ではありません。
・ご購入頂いてから間もない商品以外の時計のナイロンバンド・皮バンドの裁縫のほつれは、特別な場合を除き有償修理応対となります。

15. アフターサービス

修理を依頼される場合
時計の不具合及び修理は、不具合箇所を明記していただき下記宛にご郵送下さい。
弊社発行の保証書を必ずご同封下さい。添付のない場合は、保証期間内に於いても有償対応となりますので予めご了承下さい。

予めご了承いただきたいこと
消耗部品は経時変化しますので、必要に応じて点検及び部品交換をお申し付け下さい。
修理の際、「代替部品」を使用させていただく場合や、修理が困難な場合は「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。
特別注文された製品の修理では、純正部品での対応となる場合があります。
日本国内未入荷モデルは、修理対応が「不可能」な場合や「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。

日本総代理店
DKSHジャパン株式会社　カジュアル・ライフスタイル
〒108-8360　東京都港区三田3丁目4番19　DKSH三田ビルディング
TEL:03(5441)4515　FAX:03(5441)4522
URL：http://www.timexwatch.jp